施設長より

北町福祉作業所の１２月１８日の家族会にて練馬区福祉部 障害者 施策推進課下郡山 課長より、練馬区 公共 施設等総合管理計画〔実施計画〕＜素案＞の、北町福祉作業所に関連する部分その他2点の説明を受けました。概要は下記の通り。

練馬区 公共 施設等総合管理計画〔実施計画〕＜素案＞について

北町福祉作業所は北保健相談所の移転に合わせて、大規模 改修 を実施し、 改修 時は光 が丘第七 小学校 跡施設へ一時移転する計画です。 改修 終了後 、現在地へ戻った後民営化および機能 拡充 を 行 う予定で、令和元年度末に計画としてまとめます。

給食費 の口座引落しについて

利用者家族より 給食費 の納付方法として、 日中 に銀行へ出かけなければならず、改善要望がありました。これを受け、令和２年４月分から金融機関の口座 引落 しへ変更します。また、 給食 のキャンセルは、 食材料 を準備している関係で、当日の午前９時30分までのご連絡をお願いします。

工賃の振込について

工賃の振込について、これまで福祉作業所では、工賃を現金で支給していました。給料 のほとんどは銀行振り込みであること、現金の紛失や支給間違い等の事故を防止すること、業務の効率化等から、工賃の支給方法を口座振込みに変更します。令和２年４月分からの実施とします。

以上の話しの後、施設長より金融機関の口座 引落 しと工賃の振込等について手順を説明しました。さらに、工賃の見直しについて素案を口頭で説明しました。

12月27日の午後、利用者の皆様に工賃見直しについて説明しました。

編 集 後記：令和に変わった今年は、利用者の皆さんと多くの思い出が出来ました。
２０２０年も良い年にしたいですね。1年間ありがとうございました。（村山）

きたまち通信

１４６号
12月

２ページ：「きらきらサタデー 障害者フェスティバル」
３ページ：「アウトドアクラブ」「音楽クラブ」「武蔵野会防災 研修会 」
４ページ：「12月家族会より」　表紙下段「今後の予定」

2グループの皆さん　ねり丸くんとハイポーズ

きらきらサタデー「障害者フェスティバル」にて

発行：社会福祉法人 武蔵野会
練馬区立北町福祉作業所
〒179－0081
住　所：東京都練馬区北町８－２－１２
電　話:03(3559)0361 FAX:03(3559)0362
メール:musashinokai@kitamachi.net
ホームページ:http://care-net.biz/13/kitamachi/

発行日：令和１年１２月27日

令和二年一月の予定

１／　６	新年会
１／１３	お休み「成人の日」
１／１５	工賃支給
１／２４	地域公開講座「きらきら亭」
１／２５	きらきらサタデー
１／３１	避難訓練・茶話会
	武蔵野会総合防災訓練

きらきらサタデー

12月7日

毎年恒例の障害者フェスティバルに参加して来ました。

今回、小雨が一時ふり、寒い日でしたが、皆さんは屋外の模擬店、室内のアトラクション等散策しました。今年の北町福祉作業所は、自主生産の方では、障害者フェス限定の「マフィンセット」を数量限定で販売し好評でした。模擬店は焼き鳥を販売しました。天気が悪く来場者が少ない気がしましたが、いろいろな出店があり、盛り上がりを見せていました。利用者の方から「色々な店があった」「たくさん食べた」等、たくさんの感想を頂きました。（武田）

障害者フェスティバル

下＝焼き鳥で出店

上＝自主生産品販売と
スタンプラリーBポイント

アウトドアクラブ

12月17日・23日

イオン板橋ショッピングセンターに行き、クリスマス・師走の雰囲気を味わう目的もあり、仲間同士ワイワイしながら散策してきました。

活動時間は、ドアツードアで2時間30分。のんびりしすぎると時間が足りません。皆さんの興味のあるお店をあらかじめイメージして散策しました。（熊谷）

音楽クラブ

12月24日

音楽クラブは、歌を歌うことが好きな皆様が多かったのでカラオケで時間内たっぷり歌い切りました。コンビニで各自が好きな飲み物を購入して、相談室はカラオケボックス状態の熱気でした。（川﨑）

12月19日

社会福祉法人武蔵野会防災研修会

山本克彦 先生

八王子にて「社会福祉法人武蔵野会 防災研修 「社会福祉法人における防災・減災について」というテーマで、日本福祉大学福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科（通信教育） 教授 で減災支援教育 研究 センター長 の山本克彦氏からの講義と、グループワークを交えた 職員 研修会 が 行 われ参加しました。過去の大災害を参考に、地震災害の準備と災害時に慌てないために災害を想像すること が大切で、ライフラインの停止、交通遮断、帰宅困難、 参集 困難等に対する準備の 話 、日ごろから避難訓練だけでなく、利用者家族や 行政 との連絡、地域連携、近隣の 協力 体制、支援者受入体制等準備の必要性も話されました。1月の武蔵野会総合防災訓練では地震想定の通所施設の初動対応を学びます。（武田）